



混陽

祝 四十周年

総会 開催

自ら楽しみ、楽しみを共有し、

その中から将来の混陽会を育む

作品展を記念展として
来場者も会員も楽しめる会場を目指します

第59号



2019年4月26日
書道研究 混陽会

〒524-0037
滋賀県守山市梅田町1-7
(守山駅西口から
北へ約100m)

URL: <http://www.kouyoukai-sho.com/>

編集人：改発蒼風

書道研究 混陽会

二〇一九年度 書道研究・混陽会 活動方針

会長 安居暢翰

書の魅力を全身に感じ、心を豊かにし、情熱を持って技量の上達・進化に繋げることを目標にしたいと考えます。

本年は、書道の美を相互に語る、感性を磨く、創造性を豊かにするなど書に対する研鑽を深めることを目的に中川翠玲先生が昭和五十五年に第一回の作品展を開催されてから四十年目を迎えます。この間に「葦の会展」「翠玲書道研究会展」「混陽書道展」を中心に「みもぎの会展」「書と華の合同展」「奏楽展」などを開催し会員の育成、書道の普及、振興を図る活動を継続してきました。

今年はこちらを総括し四十周年の記念に相応しい事業を企画し推進したいと考えます。四十周年事業のコンセプトは「自ら楽しみ、楽しみを共有し、その中から将来の混陽会を育む」とします。作品展は記念展とし来場者も会員も楽しめる会場を設計することとします。

一・四十周年記念事業

1-1 四十周年記念・混陽書道展

記念イベントを含め多彩で楽しい記念展とし十二月に草津市立草津クレアホールにおいて開催します。

●会期…十二月六日(金)～八日(日)

●場所…草津クレアホール

●展示ホールおよびホワイエ

●出品…混陽会員と教室会員全員

●授賞式…十二月八日(日)於・大ホール

1-2 混陽会創立四十周年記念・奏楽展(第四回)

大型作品から小型作品まで、バラエティに富んだ作品展を六月に守山市民ホールにおいて開催します。混陽書道展や公募展では表現できない楽しい作品に挑戦し取り組むこととします。

●会期…六月二十八日(金)～三十日(日)

●場所…守山市民ホール展示室

●出品…混陽会員全員

●作品構成…①大型書作品(四尺×八尺他)

②小型書作品 ③書と墨画作品

④書と押絵作品

1-3 記念行事

専任チームで企画立案し、執行役員会において協議・承認され実施することとします。

●四十周年の歴史とあゆみの展示

●作品集の発行

●記念パーティの開催

●研修…一月十六日～二月二十四日

顔真卿展・東京国立博物館・平成館

二・公募展

公募展に挑戦して十四年が経過しました。会員の研鑽の成果は日本書芸院展、読売書法展、日展において多くの仲間が入選、入賞を果たしていること、更にこれらの団体の役員・会友をも排出していることで成長を感じることが出来ます。本年もこれらの公募展に取り組むこととします。

2-1・日本書芸院展

伝統と創意を基本理念としています。読売書法展、日展への実力養成の機会と位置づけ取り組んでいくこととします。

2-2・読売書法展

古典と伝統を書の中心とする公募展です。公募展の中心と位置づけ今年度も積極的に取り組んでいくこととします。

2-3・日展

健全なる美術創作に関する総合美術展覧会で、書は第五科に属します。日本最高峰の書展に取り組むこととします。

2-4・滋賀県美術展覧会（県展）他

県民の日頃の創作活動の成果を発表する場で、書は第四部に属します。活動の拠点である滋賀県の書文化の発展と向上を願い取り組むこととします。また、市展等も同様に取り組んでいくこととします。

2019年度 役員

会長	安居 暢翰
師範	中川 翠玲
理事	伊部 芳翠
理事	中間 翠洸
理事	木村 香雪
理事	堤 篁雲
参事	山本 華泉
参事	井狩 遊雪
参事	古川 圭翠
参事	久田 萌玉
参事	下村 莊香
副理事	改発 蒼風
副参事	富田 蒼月
副参事	引間 京華
副参事	宮崎 恵舟
副参事	日下部 雅苑
副参事	若江 翠園
副参事	木村 静宵
副参事	野口 虹翠
副参事	河野 翠風
副参事	土田 純香
副参事	山田 翠陽
副参事	織田 蒼雪
副参事	井上 照華
副参事	川田 幸洲
監事	武内 暢聲
参与	属 琴泉
参与	吉岡 浄香
参与	大島 祥鶴
評議員	寺井 妙香
評議員	古株 崇溪
評議員	蜂谷 煌翠
評議員	柴田 翠湖

2-5・シルバー展

高齢化社会を反映し、シルバー世代を対象に開催されています。生涯学習の一環との位置付けを明確にし、意欲的に取り組んでいくこととします。

2-6・滋賀読売競書大会

小学生から成人までを対象に滋賀書作家協会が主催する行事であり今年度も積極的に取り組んでいくこととします。

三・講座部

3-1・定期講座

平成七年から続けています①古典講座、②古筆講座、③調和体講座は実力を養成する基幹講座として継続します。

3-2・勉強会「共に楽しく書きましよう会」

昨年に引き続き本年も①臨書の取り組みをより一層深めることと、②細字を鍛錬することの取り組みを実施します。

四・広報活動

4-1・機関紙「混陽」の発行

会員に対する①行事情報の伝達、②書の技術情報の紹介、③書に対する意識や関心を喚起する記事などを中心に構成し充実を図っていくこととします。

生徒部八段位試験合格者

(二〇一八年十一月実施)

- 北川 琴音 中二年（毛筆） 湖城教室
- 前川 愛実 中三年（硬筆） 湖城教室
- 森地 董 中二年（硬筆） 石部教室

おめでとうございます！

生徒部八段位試験課題 「わたしと習字」

湖城教室 中二年 北川琴音

私は小学校二年生の時から習字を習い始めました。習字を始めたきっかけは、姉が習字をしているのを見て、私も上手に書けるようになりたいと思ったからです。

しかし、私は左利きだったので右利きに直すことから始まり、他の人よりも書けるようになるにはすごく苦労しました。直線や波線の書く練習から、どんどん色々な字が書けると嬉しく、もっと頑張ろうと積極的に取り組むことが出来ました。

級のときは、順調に上がっていったけれど、段になるとなかなか上がらなくなり、悩むこともありました。でも、その時に諦めるのではなく、自分の字とお手本を比べて改善点を考え、もっと上手な人の作品を見て、自分には何が出来ていないのか知ること、一つ一つの文字をより良く書くことを目指しています。

大きくなるにつれて部活や他の習い事などで、練習時間が減りがちになるかもしれないけれど、今自分が書ける一番の字を書きたいと思っています。そして、一文字一文字を自分の思う字にしていけることで習字に対する楽しいという気持ちを高めていきたいです。

今までたくさんのお話を教えてくださった先生に感謝し、そのアドバイスを大切に、自分の字に生かしていきたいです。そして、習字の楽しさをもっと知っていききたいです。



2019年度 年間行事予定

Table with 2 columns of monthly schedules. Each column has 4 rows with columns for month, day, day of week, and content. The first column covers months 5, 6, 7, and 8. The second column covers months 9, 10, 11, and 12.

生徒部八段位とは？
日本習字生徒部の最高位です。合格すると「特待生」として、成人対象の手本で学習出来ます。合格された多くの方が特待生として学習を続けています。
試験内容は、①実技試験 ②理論試験
③作文（題は『わたしと習字』）

受賞者報告

おめでとうございます！

【日本書芸院展】

特別賞 .. 伊部芳翠・木村香雪

准特別賞 .. 木村静宵・日下部雅苑

特選 .. 宮崎恵舟

特選 .. 井上照華・川田幸洲

特選 .. 橋本翠遊・引間京華

特選 .. 森永圭霞

一科推薦 .. 内山暢聡・山川桐葉

二科推薦 .. 岡山香風

【第十一回滋賀読売競書大会結果（金賞以上）】

優秀団体賞 .. 混陽会

一般の部

守山市長賞 .. 日下部雅苑

金賞 .. 改発蒼風

銀賞 .. 伊部芳翠・木村静宵・三宅汀嘩

銀賞 .. 山田馨泉・若江翠園

生徒の部（ ）内、学年

大賞 .. 阪口花音（中二）

守山市教育長賞 .. 山本 凜（小六）

栗東市教育長賞 .. 上田仁斗（小二）

金賞

.. 辻日菜子（小一）・清水瑠奈（小三）

.. 加藤歩夢（小四）・植出美桜（小五）

.. 宮本萌生（中三）

◇滋賀読売競書大会は、四月二十七日（土）二十九日（月）大津市歴史博物館にて滋賀書作家協会会員展、全国シルバー書道滋賀展と同時開催

教室紹介 能登川教室 講師：新谷翠月先生

能登川教室は東近江市の躰光寺、薬局さんの二階にあります。

幼児さんから高校生まで向かい合わせに座り、一度のお稽古に何枚清書できるかチャレンジしたり、時にわいわい脱線したりしながら、週に一度の“書く時間”を楽しく過ごしています。

滉陽展や学校での作品が入賞したり、年二回の画仙紙課題で観峰賞の生徒さんがいれば、みんなで喜び、「次は自分が賞取るで！」と言ってくれます。頼もしい生徒さんたちに囲まれ支えられ、山本露子先生より教室を引き継ぎ、四月で一年が経とうとしています。どうなることかと思いましたが、お手伝い先の先生方、時々しかお会い出来ないのに声をかけてくださる先生方、中川先生の後押し、激励もあり、まずは一年やりきることが出来ました！

教室周辺にお習字教室が増えてきているので、今年是指導以外の面も力を入れていきたいです。字の上達はもちろんですが、書くことの喜びや楽しさ、何より生徒さんが生徒さんらしくいられる場所、ほっと一息つけるような時間を提供していけたらなと思っています。



「日本の墨(和墨)と中国の墨(唐墨)とのちがいは？」

奈良製墨組合HP 墨のひみつQ&Aより

和墨はもともと中国から製法が伝来し生まれた物であり、唐墨とその製法は同じであったはずですが、今日では各々独自の特色を持ち合わせるようになりました。

和墨

比率 煤・膠 10.. 6~8

滲み 滲みが弱い

硬さ 一般に唐墨より硬い

伸び 伸びは唐墨に劣るが膠力は強い

墨色 濃厚味があり、力強く基線が黒々としていて素朴で強く品位と深みがある。

唐墨

比率 煤・膠 10.. 10~12

滲み 滲みが強い

硬さ 比較的柔らかい

伸び 伸びのよいものが多い

墨色 柔らかみがあり、やや茶味の墨色。

深みは持っている。素朴さに欠ける。

名墨は古墨として、長い寿命を持っている。しかし、現在の唐墨は摺り口にヒビが入りやすく割れやすい。

唐墨には唐墨の、和墨には和墨の良さがありそれぞれの特長を理解して御使用なされることをお勧めします。

唐墨は膠の力の弱いものを、和墨は膠の力の強いものを使っている為、唐墨は膠の配合量が多くなり和墨は少なくなります。特に中国の清代の名墨といわれる墨は墨色に品があり伸び、滲みが良いものが多かったのですが、現在の唐墨は力の弱い膠を大量に使っている為、気温や気候の変化でよく割れたりします。現在の品質は和墨の方がはるかに良くなっています。

「奈良製墨組合ホームページ 墨のひみつQ&A」
<http://www.sumi-nara.or.jp/index4.html>

二〇一九年 定期講座

◆調和体講座

講師：川添翠湖先生

時間：九~十二時

開講日：偶数月第一日曜日

◆古筆講座

講師：属 琴泉先生

時間：十~十三時

開講日：偶数月第三日曜日
(八月は二十五日)

◆古典講座

講師：岡田祖翠先生

時間：九~十二時

開講日
5月12日
7月28日
9月8日
11月10日

■編集後記■ 2019年の最初の機関紙です！今年からは5月から元号が「令和」になり、滉陽会にとっては40周年の節目の年。どんな年になるのか楽しみです。(MK)